

J **apanese text**

2018年 秋/冬号 日本語編

**イベント
ガイド**

文=鈴木糸子、編集部

p.066

**国際建築展で観る、日本建築界の試み
第16回ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展 日本館**

安藤忠雄、伊東豊雄、谷口吉生、隈研吾や妹島和世などの活躍により、注目を集める日本の建築界。彼らも過去に携わり、2012年には日本館が金獅子賞・パピリオン賞を受賞した「ヴェネチア・ビエンナーレ国際建築展」。その第16回展が現在開かれ、高い評価が寄せられている。キュレーターであるアトリエ・ワンの貝島桃代のもと、「建築の民族誌」をテーマに、国内外の大学やデザインスタジオ、建築家や現代美術作家など42組が出品。設計詳細図からハイブリッドな都市環境図、自然災害後の大規模調査まで、さまざまなアプローチのドローイングを展示。建築と暮らしや、建築の役割を考えさせると同時に、未来の社会への提言を投げかける内容となっている。(鈴木糸子)

～11月25日

ビエンナーレ会場 ジャルディーニ地区内

www.labiennale.org/en

(写真)

©Andrea Sarti/ CAST1466, photo courtesy of the Japan Foundation

**世界はすべてデザインでできている
企画展「デザインあ展」**

2013年に美術館「21_21 DESIGN SIGHT」にて22万人を動員した『デザインあ展』が、新作を携えて帰ってくる。「デザインあ」とはNHK Eテレによる子ども向けのテレビ番組。身の回りに当たり前に存在しているモノをデザインの視点で捉

え直し、斬新な映像手法と音楽で表現した15分番組で、大人のファンも多い。

本展はそんな「デザインあ」的思想で構成された、大人も子どもも楽しめる展覧会。見て、聞いて、時には自らが動き回することで、デザインの本質に気づける優れた構成となっている。お弁当の中身、トイレのマーク、家紋、回転寿司……、世の中を構成する何気ないひとつひとつが、鑑賞後は違った意味と深みを持って見えてくるはずだ。

頭を空っぽにして先入観なく楽しんでほしい。(編集部)

～10月18日 日本科学未来館

東京都江東区青海 2-3-6

2019年4月～ 山梨県立美術館

山梨県甲府市真川 1-4-27

2019年6月～ 熊本市現代美術館

熊本県熊本市中央区上通町 2-3 びぶれす熊日会館 3階

www.design-ah-exhibition.jp

世界的デジタルアート集団の新作を体感

多彩なジャンルとのコラボレーションにより、注目を集めるデジタルアート。世界で活躍する著名な2つのアーティスト集団による、それぞれの新作を楽しめるスポットが、相次いで日本に誕生した。東京・お台場の「MORI Building DIGITAL ART MUSEUM : EPSON teamLab Borderless」は、チームラボ初の常設ミュージアムで、光を遮断した迷路のような空間に、順路の指定なく50以上の作品が点在。手探りで進んでゆくと、眩しいほど鮮やかな色彩や、絶え間なく流れて変化する映像による、インパクト溢れる作品群に次々に出合える。ボルダリングなど全身を使って体験する作品や、描いた動植物がスキャンされ壁面に投影される作品、茶碗の中に投影された花ごと日本茶を味わう作品など、インタラクティブに楽しめることがコンセプト。全作品を制覇するためには、一日では足りないかもしれない。長崎県長崎市の伊王島に

ある「ISLAND LUMINA」は、カナダを中心に世界 8 カ所で展開され人気を博す「LUMINA シリーズ」の日本初上陸作品として、世界最高峰のデジタルアート集団・MOMENT FACTORY が手掛けたもの。日没後、周囲の森の中に光と映像による演出が浮かび上がり、約 1km のコースを巡りながら「魔法の宝石を探す旅」という冒険物語を体感できる。
(鈴木糸子)

MORI Building DIGITAL ART MUSEUM : EPSON teamLab Borderless

東京都江東区青海 1-3-8 お台場パレットタウン

Tel. 03-6406-3949 (電話受付 / 10 時 ~ 18 時)

borderless.teamlab.art

ISLAND LUMINA

長崎県長崎市伊王島町 1-3278-3

Tel. 095-898-2202

日没後 ~ 23 時 (最終入場 22 時 30 分)

www.islandlumina.jp/en